

平成不況の論点

大竹文雄・柳川範之編著

バブル崩壊以降、日本経済が長期停滞している原因は何か。有力エコノミストの論戦を集めたのが本書だ。資産価格下落、不良債権、デフレの悪循環をめぐる論争は、しばしばラチの明かない「悪無限」に陥る。本書にもそのきらいはある。それでも、政府エコノミストが「国債価格が下がって何か困ることがありますか？」と、財務省が顔色を失う主張をするなど、はた目を気にせず論じ合っているのには好感を覚える。(東洋経済新報社・一、五〇〇円)